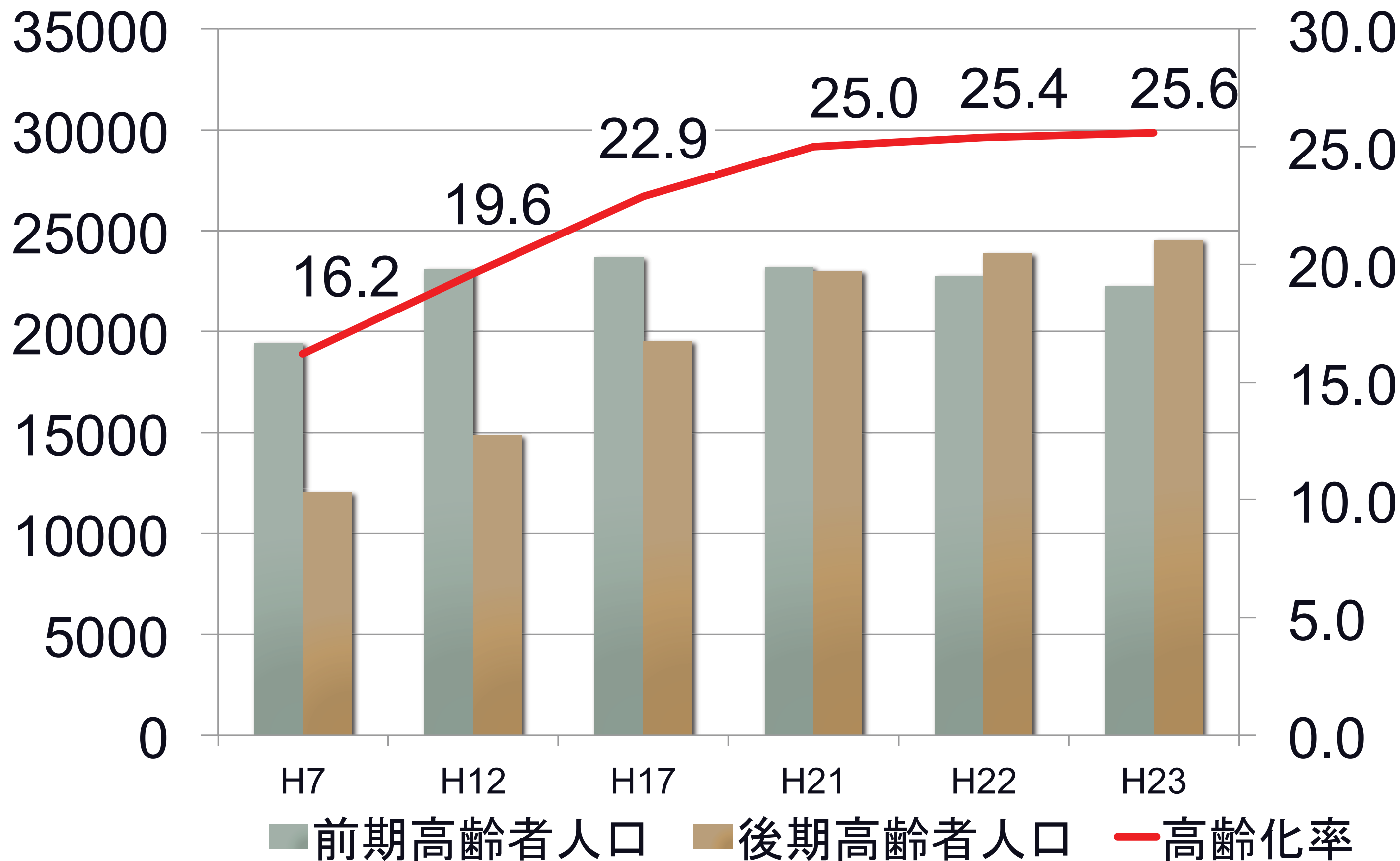


津軽地域における高齢がん患者を対象とした 地域医療連携システムの構築

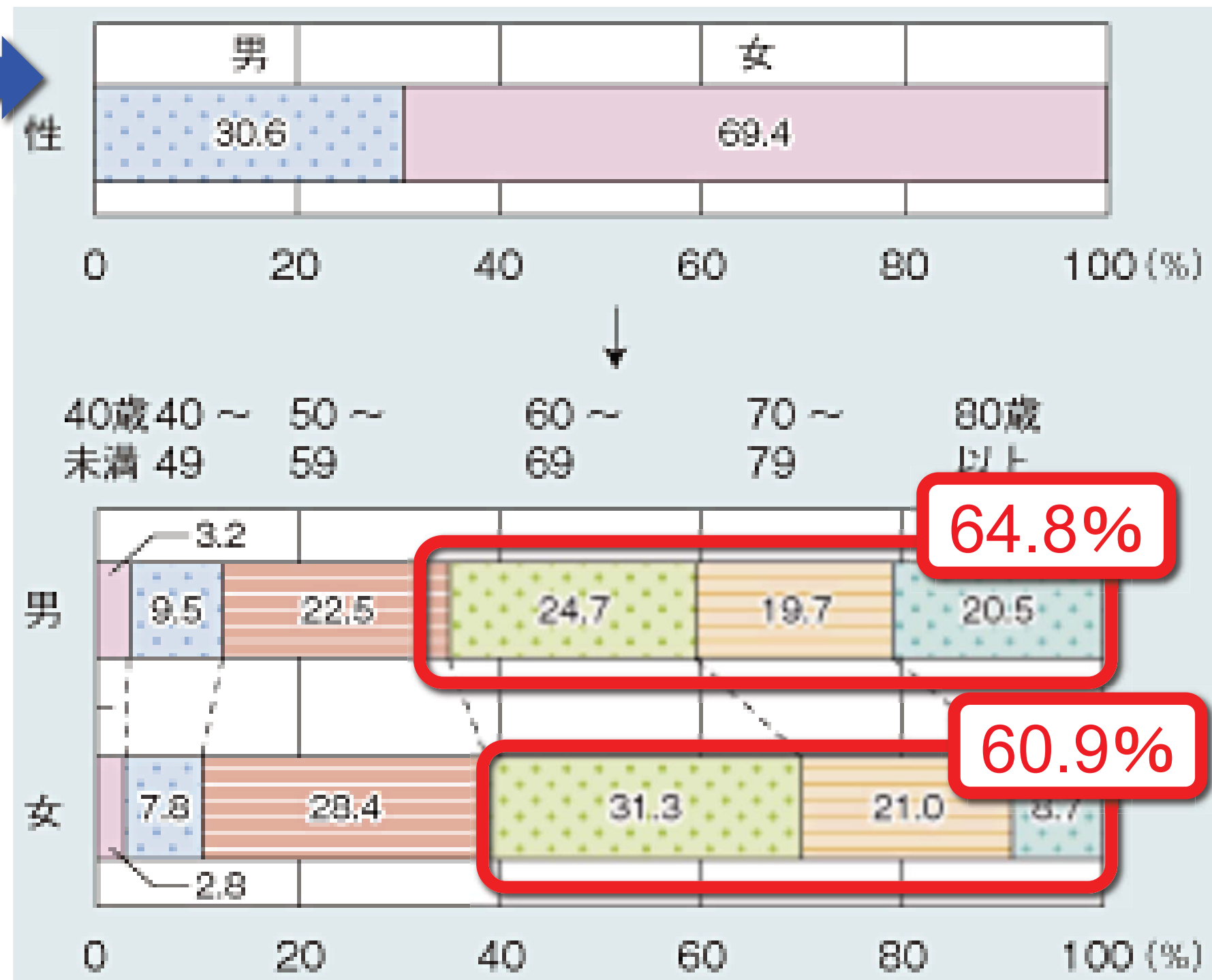
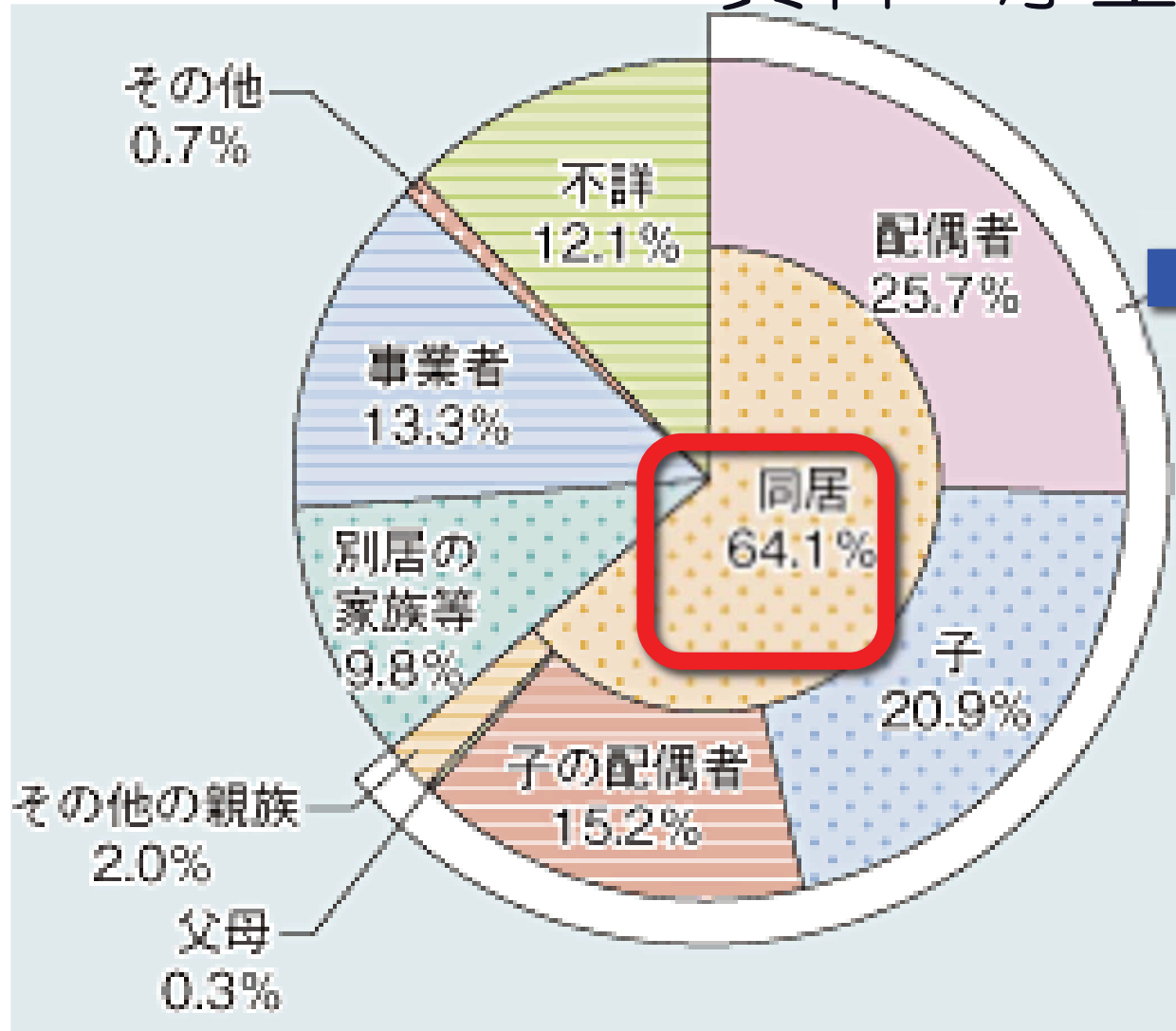
弘前大学大学院保健学研究科
北嶋結 真里谷靖 佐藤真由美
2014.3.18.

弘前市の高齢者人口と高齢化の推移



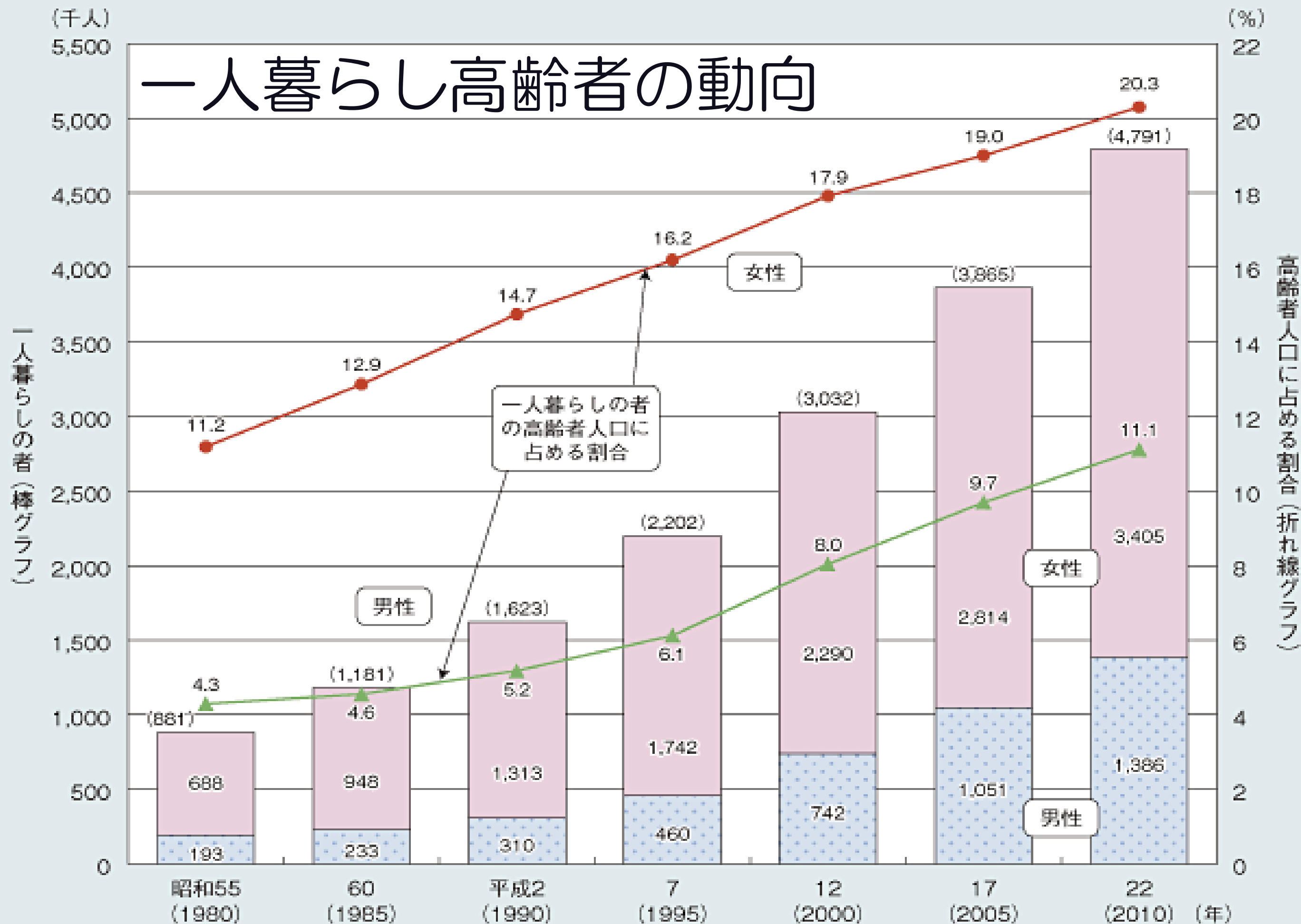
要介護者からみた主な介護者の続柄

資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」（平成22年）



(注) 主な介護者の年齢不詳の者を含まない。

一人暮らし高齢者の動向



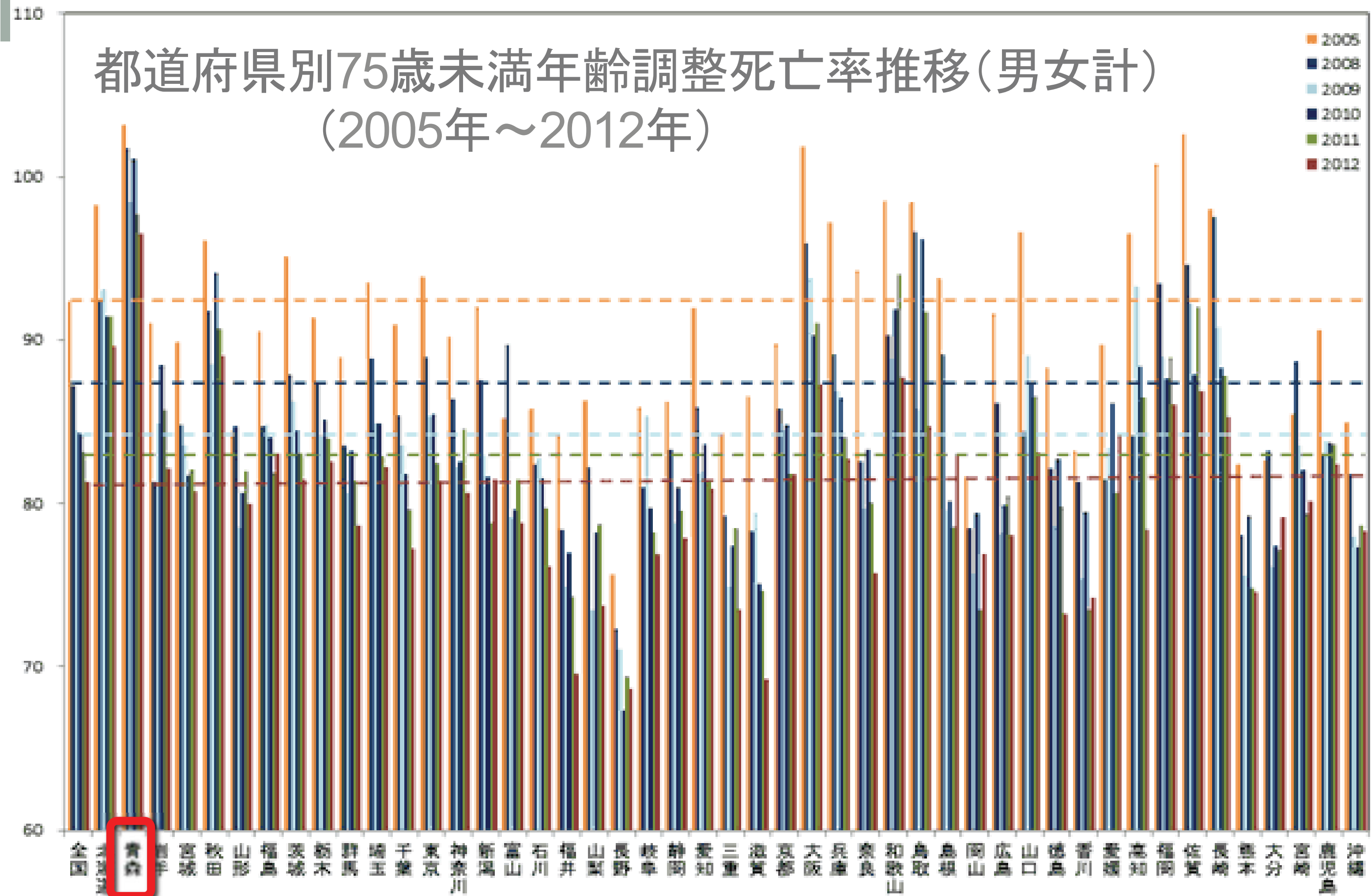
資料：総務省「国勢調査」

(注1) 「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単独世帯」のことを指す。

(注2) 棒グラフ上の()内は65歳以上の一人暮らし高齢者の男女計

(注3) 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

都道府県別75歳未満年齢調整死亡率推移(男女計) (2005年～2012年)



資料：独立法人国立がんセンターがん対策情報センター

全がん75歳未満年齢調整死亡率(男女計)が高い5県

1995年	大坂府	福岡県	佐賀県	長崎県	兵庫県
2000年	大阪府	佐賀県	福岡県	長崎県	青森県
2005年	青森県	佐賀県	大阪府	福岡県	和歌山県
2006年	青森県	和歌山県	大阪府	秋田県	福岡県
2007年	青森県	佐賀県	和歌山県	大阪府	鳥取県
2008年	青森県	長崎県	鳥取県	大阪府	佐賀県
2009年	青森県	大阪府	高知県	北海道	佐賀県
2010年	青森県	鳥取県	秋田県	和歌山県	北海道
2011年	青森県	和歌山県	佐賀県	鳥取県	北海道
2012年	青森県	北海道	秋田県	和歌山県	大阪府

資料：独立法人国立がんセンターがん対策情報センター

地域で、多くの専門職で高齢者を支えよう！

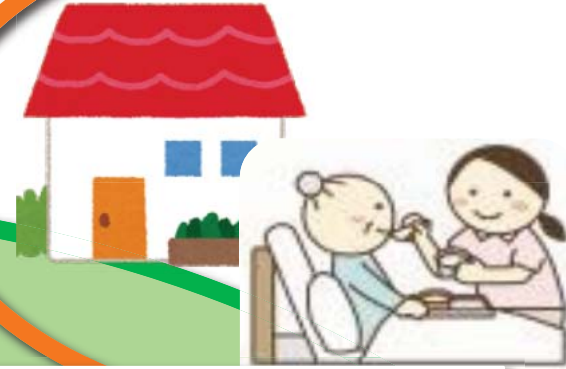
がん診療
基幹病院



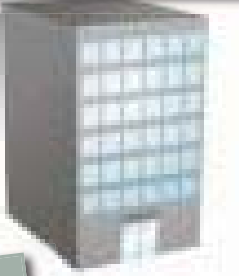
薬局



訪問介護



大学



かかりつけ医



訪問リハ



訪問看護
ステーション



居宅介護支援事業所



有料老人ホーム

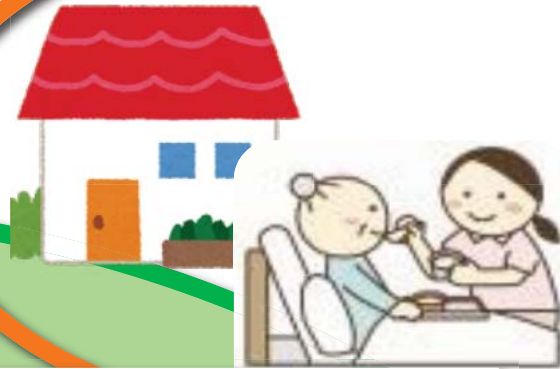


関係職種・施設が持っている情報（一部）を共有！

がん診療
基幹病院

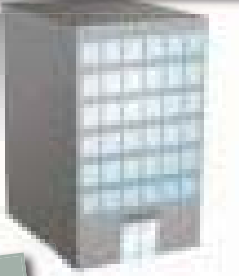


薬局



訪問介護

大学



かかりつけ医



インターネット
タブレット端末



訪問リハ



訪問看護
ステーション



居宅介護支援事業所



有料老人ホーム



背景

- 青森県はがん死亡率全国最下位
- 医療者側の人的資源の減少と疲弊
- 交通機関など社会的インフラと質的・量的悪化
- 超高齢化社会とこれに伴う老老介護や独居高齢者の増加
- 地域を担う若者や中堅世代の絶対的減少とこれに伴う日中独居高齢者の増加

→高齢がん患者の治療やケアの質の維持・向上を目指すには

病診連携や病病連携のみならず、他職種をお互いによく理解し、効果的な役割分担と協働を重視した体制作りが肝要

研究の全体像

1. 市内の高齢がん患者に対する、在宅生活の実態調査
2. 高齢がん患者の在宅医療や生活に関わる医療・介護・福祉の専門職に対する、現行の支援状況の実態調査
3. 高齢がん患者の在宅医療や生活に関わる医療・介護・福祉の専門職が共有可能な情報の整理

1. 高齢者の割合が多い市内の地区の高齢がん患者の診断・治療の実際、及び、高齢者のがん治療に対する要望等をサンプリング調査

調査1.A病院にてがんの治療を行った高齢者がどのような医療・福祉・介護サービスを利用する準備をして退院しているのかの実態調査

調査2.A病院にてがん治療を行っている高齢者から治療や在宅生活を送るうえでの困難なことはなにかの聞き取り調査を行う

調査3.弘前市におけるがんを患った高齢者がどのような医療・福祉・介護サービスを利用しているのかの実態調査

⇒介護保険データおよび医療保険データの2種類のデータからの読み取りを検討中

高齢がん患者の在宅医療や生活に関わる医療・
介護・福祉の専門職に対する、
現行の支援状況の実態調査

津軽地区高齢者の地域医療を考える会

- 平成25年度から発足
- 弘前市を中心に、在宅生活を送る上で関わることがある、専門職が集まり情報交換を行っている。

津軽地区高齢者の地域医療を考える会

第1回情報交換会

- 2013年6月19日（水）18時～21時
- 弘前大学大学院保健学研究科
- 参加者：約15名

テーマ

- 在宅支援を考える

津軽地区高齢者の地域医療を考える会

第2回情報交換会

- 2013年7月17日（水）19時～22時
- 弘前大学大学院保健学研究科
- 参加者：約20名

テーマ

- 病院から退院する上でどのような状況であるのか（医療ソーシャルワーカー）
- 訪問看護ステーションの現状・連携に関する取り組み（訪問看護師）

津軽地区高齢者の地域医療を考える会

第3回情報交換会

- 2013年9月4日（水）19時～22時
- 弘前大学大学院保健学研究科
- 参加者：約15名

テーマ

- 薬局からの連携の取り組み（薬剤師）
- 介護支援専門員からの連携の取り組み（介護支援専門員）

津軽地区高齢者の地域医療を考える会

第4回情報交換会

- 2013年12月12日（木）19時～22時
- 弘前大学大学院保健学研究科
- 参加者：約15名

テーマ

- 連携・支援への取り組み（医療ソーシャルワーカー，福祉用具相談員）

医療・介護・福祉の専門職が 共有可能な情報の整理

1. 仮想の患者様・弘前太郎様をもとに，各専門職が弘前太郎様にかかわるうえで必要な情報を提供していただく
2. 集められた必要な情報から，専門職同士で共有したほうが良い情報，そうでない情報を選別する
(マルマンコンピューターサービス株式会社と協働)

各専門職が弘前太郎様にかかわるう
えで必要な情報を提供していただく

弘前太郎様の情報(医師から)



《訪問看護指示書》

- 氏名
 - 疾患名
 - 現在の状況：病状， 治療状態
 - 投与中の薬剤用量
 - 日常生活自立度
 - 要介護認定状況
 - 褥瘡の有無
 - 留意事項
 - 緊急時の連絡先
- など

弘前太郎様の情報 (病院退院時(看護師や医療相談員から))



《患者情報提供用紙》

(津軽地域ケアネットワーク共通様式)

- 氏名
- 疾患名
- 現在の状況：病状，治療状態
- 投与中の薬剤用量
- 日常生活自立度
- 留意事項
- 緊急時の連絡先
- 医療処置の有無，種類
- 日常生活状況（食事，移動，排泄，清潔など）

弘前太郎様の情報 (訪問看護から)



《訪問看護計画書》

- 氏名
- 疾患名
- 看護の問題点, 目標, 解決策, 評価
など

ケアマネージャーから



《居宅サービス計画書》

- 氏名
 - 疾患名
 - 要介護認定状況
 - 利用者及び家族の生活に対する意向
 - 介護サービスの種類
 - 総合的な援助の方針
 - 週間サービス計画表
- など

薬局から



《在宅患者訪問薬剤管理指導報告書》

- 氏名
- 疾患名
- 薬剤の保管管理
- 服薬状況
- 副作用やアレルギーの有無
- 薬剤の形態（錠剤，すりつぶしの有無，一包化など）
- かかりつけ医（複数の場合あり）

など

2. 専門職同士で共有したほうが良い情報,
そうでない情報を選別する
(マルマンコンピューターサービス株式会社と協働)

弘前太郎様の情報



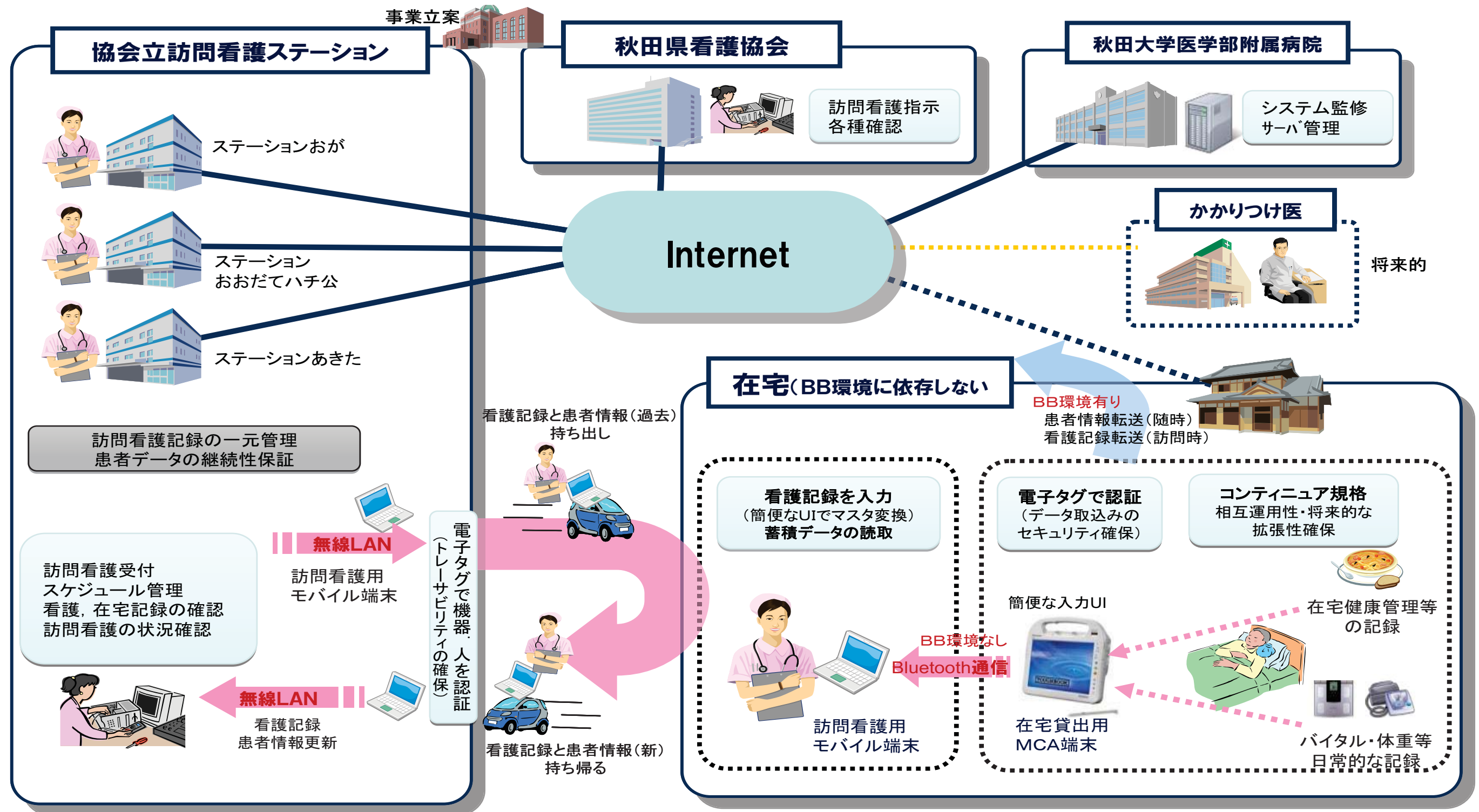
《共有情報》

- 氏名
- 疾患名
- 現在の状況：病状，治療状態
- 投与中の薬剤用量
- 日常生活自立度
- 要介護認定状況
- 緊急時の連絡先
- 医療処置の有無，種類
- 日常生活状況 など

3. 既に在宅医療などの連携体制をある程度確立している地域の代表的施設の訪問調査

訪問看護IT化推進事業

(秋田県看護協会 訪問看護ステーションあきた見学)



今後

- 弘前市の高齢がん患者の在宅生活の実態調査の継続
- 高齢者の在宅生活を送るうえで関わる専門職での情報共有内容の整理
- 各専門職が共有したほうがよい情報をIT支援システムとして実用化するためのハードウェア選択、ソフト開発・運用
- 上記を踏まえた上での地域連携ネットワークへの貢献・協力